

令和7年度「インターネットによる遠隔教育受講生（遠隔選科生）」募集要項

科目名 遠隔-7 自治体で実践する禁煙支援

A. 科目責任者：稲葉 洋平（生活環境研究部）

B. 科目の内容概略ならびに一般目標 (General Instructional Objective: GIO) と行動目標 (Specific Behavioral Objectives: SBO)

○内容概略

健康日本21（第二次）では、喫煙率12%を目標にされているが、現段階では喫煙率の目標は達成されていない。さらに2014年から国内で販売開始された「加熱式たばこ」は、喫煙者の使用率が20、30代では喫煙者の50%近くまでに達している。現在少しずつではあるが、加熱式たばこの研究成果が報告されている状況である。そこで紙巻たばこに加えて加熱式たばこについての知識を習得し、禁煙支援を展開することが急務である。これまで国立保健医療科学院では受動喫煙対策を中心とした短期研修を実施しているが、禁煙支援に特化した研修は行なっていなかった。本科目では「自治体で実施する禁煙支援」を中心に遠隔研修プログラムを展開する。

主に加熱式たばこなどのたばこ製品が有する有害性とそれに伴う健康影響を理解し、禁煙支援の基礎を学び、自治体で実践する禁煙支援の手法を実践するための技術を習得することを目的とする。

○一般目標

自治体の喫煙率の減少を目的として、たばこ製品が有する有害性とそれに伴う健康影響を理解し、禁煙支援の基礎を学ぶ。さらに自治体で実践する禁煙支援の手法を習得する。

○行動目標

- ・改正健康増進法など厚生労働省が進めるたばこ対策を概説出来る
- ・紙巻たばこ、加熱式たばこ、電子たばこの有害性を理解し、説明することが出来る
- ・禁煙支援の基礎（たばこの依存性、禁煙支援マニュアル、動機づけ面接）を概説出来る
- ・ライフステージを通じた禁煙支援の企画案を策定出来る

○科目の進め方

- ・各チャプターでテーマを設定し、それに関する理論・研究成果・実践状況を紹介する。
- ・講義の一部は、撮影したファイルを視聴する形式、リアルタイムの ZOOM での授業を計画している。
- ・自治体の禁煙支援の状況を共有し、理解を深める。

C. チャプター名と各チャプターにおける獲得目標

第1章 我が国におけるたばこ対策（禁煙支援政策）

- ・ たばこ規制枠組条約、改正健康増進法、健康日本 21（第3次）などの日本におけるたばこ政策の理解をする（特に禁煙支援政策の歴史、概要の理解）

第2章 たばこ製品の有害性・健康影響

- ・ 国内で販売されている紙巻たばこ製品の有害性・健康影響の理解
- ・ 加熱式たばこを含む新型たばこ製品の有害性・健康影響の理解

第3章 禁煙支援

- 禁煙外来について
- 禁煙補助薬について
- 禁煙支援マニュアル、たばこの依存性、ニコチン依存度テストについて理解する
- 動機付け面接の進め方、内容を理解し、ロールプレイを行う
- 禁煙支援の進め方（歯科を中心に）

第4章 自治体が行う禁煙支援

- 母子保健（母子手帳配布時の禁煙支援）など、短時間で実践する禁煙支援法
- 自治体職員向けの禁煙指導の進め方
- 学校現場での防煙教育

第5章 ステークホルダーなどと連携した禁煙支援

- 医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携した禁煙支援の推進を学ぶ
- 今後の行動計画案の作成

D. 担当者一覧：稲葉 洋平（生活環境研究部）

牛山 明（生活環境研究部）

星 佳芳（保健医療情報政策研究センター）

戸次加奈江（生活環境研究部）

田野 ルミ（生涯健康研究部）

楠瀬 翔一（生活環境研究部）

E. 募集定員：定員 10 人

F. 受講資格：保健医療福祉関連業務に従事する者、自治体においてたばこ対策を行っている者

G. スクリーニングの有無：なし

H. 修了認定の方法：各チャプターにおける掲示板での発言回数

I. 開講期間：令和8年1月13日～令和8年2月27日

J. 受付期間：令和7年11月4日～令和7年11月28日

K. 追加提出書類等：なし

L. 使用テキスト：なし

M. 接続環境：①インターネットを用いて科学院遠隔教育システムにアクセスできる.

②Zoom による双方向の講義にカメラ・マイク付きで参加できる.

（期間中 1 回程度、日程は相談可）

N. 専門課程（分割後期を含む）認定単位：2